
赤潮注意報（シャトネラ アンティカ）

鹿児島県水産技術開発センター
平成21年7月28日

八代海赤潮注意報 No.2

[1] 7月27日の調査結果（鹿児島県水技センター，東町漁協）

全調査点において有害種による着色域は確認されませんでした。御所浦島～芦北町以北や水俣～出水沿岸で川水の影響と思われる濁りを確認しました。

有害種は、シャトネラ アンティカが1～14 cells/ml、シャトネラ マリーナが最大2 cells/ml、コクロディニウム ホリクリコイデスが1定点で2 cells/ml確認されました。また1定点においてシャトネラ マリーナが2 cells/ml確認されました。なお、熊本県御所浦島採石場沖の採水では、シャトネラ アンティカが表層で19 cells/ml確認されました。
※各調査点の細胞数は下図を参照

[2] 熊本県，天草市による調査結果（7月27日）

熊本県水産研究センターの調査では、上天草市姫戸町沖から同市龍ヶ岳町樋島沖、天草市楠浦湾周辺海域においてシャトネラ属による着色域が確認されており拡大傾向にあります。（熊本県は14日に赤潮警報発令）また、天草市水産研究センターの調査でも、御所浦島周辺や栖本湾で、着色域がみられ、細胞数は増殖傾向にあります。

[3] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査では、本県海域でシャトネラ アンティカが10 cells/ml以上確認されました。また熊本県側の海域では、シャトネラ属による着色域が確認され、シャトネラ赤潮が拡大しています。

調査全域で競合する珪藻類が少ない状況であり、海況、天候次第では、本県海域でも増殖する可能性がありますので、出現海域付近の養殖場では、検鏡による細胞数の動向を把握するなど、十分注意してください。

なお、コクロディニウム ホリクリコイデスは、今回1定点で2 cells/ml確認されたのみで、熊本県の調査でも確認されても低密度であり、ひとまず終息したと思われます。

次回調査は8月4日の予定。

【鹿児島県水技センター，東町漁協
熊本県，天草市調査】

調査日：2009. 7. 27
天 候：晴れ→曇り／波高0.5m
調査時間：12:20～15:20

川水の影響による濁りが確認された。
有害種はシャトネラ アンティカ、シャトネラ マリーナ、
コクロディニウム ホリクリコイデスを確認。
珪藻類が少ない。

